



文責 本宮小校長 佐久間仁

新年明けましておめでとーうーいーます

第 三学期始業式



第三学期始業式を行いました。この冬休みは雪が降ることもなく、お正月も例年になく暖かかったです。十七日間、子どもたちの多くは風邪やインフルエンザにかかるともなく健康で安全な毎日をお過ごしことができました。転入生一名が加わり、四百三十名が元気に三学期をスタートできたことを大変嬉しく思います。保護者の皆様には、冬休みの宿題や持ち物の確認など大変お世話になりました。ご協力に感謝申し上げます。

始業式では、三学期の始まりにあたり、次のような話をしました。「さて三学期のスタートにあたり、校長先生からみなさんをお願いしたいこと、それは、『命を大事にし

てほしい。そして毎日を元気に過ごせることに感謝し、自分の夢に向かって新たな挑戦をしてほしい』ということですよ。

新年になり悲しいニュースが報じられた一方で、嬉しいニュースもありました。元旦のニューイヤー駅伝や第一〇〇回を迎えた箱根駅伝では、多くの福島県出身の社会人や大学生の皆さんが選手や監督として活躍し、ふるさと福島の人々に感動と勇気を届けてくれました。

本宮小の児童の皆さんの中にも、冬休み中、市主催の『にじいろひろば』や『書き初め大会』に自ら応募し、他校の友達と交流を深めながら、貴重な経験を積んだ人たちがいました。自分から積極的に新たなことにチャレンジしようとする人が本宮小にいることを嬉しく思います。

『一年の計は元旦にあり』という言葉を知っていますか。何事もまず最初に計画を立てることが大事という意味ですが、みなさんもこれから三学期の目標を立てると思います。まずは、感染症や交通事故などに気をつけて健康で安全な毎日を過ごしてください。またみなさんの健康や安全を守ってくれる方々への感謝の気持ちを忘れないでください。そして、ぜひみ

なさんも先程紹介したお友達のように、新たなことに自分からチャレンジする勇気をもってほしいと思います。

学習面であれば、漢字検定や学力テストに向けて、自分の苦手な教科に進んで取り組んで弱点を克服する、生活面であれば、あいさつやゴミ拾い、人助けなど、自分でよいと思ったことを率先して行うなど、どんなことでもよいと思います。今まで『いやだ』『苦手だ』『恥ずかしい』など、弱気な自分に負けてしまい、つい避けてきてしまったことに改めて挑戦してみるのは、今まで自分には『無理』『できない』と思っていたことでも『できるかも』『やってみよう』『できた』と思うことで、自分の可能性を広げることができる、そんな三学期にしてほしいと思います。」

※三学期は一年で最も短い学期ですが、現学年の総まとめをするともに、新学年に進む準備をする、大事な学期です。苦手なことに挑戦し、克服することで、自分に自信をもち、次の学年で飛躍するための土台づくりをしてほしいと思います。そのためには、健康が大切です。早寝早起き朝ご飯でよい生活習慣づくりをサポートしてください。保護者の皆様のご協力をお願いします。

入賞おめでとう

福島県理科作品展

【準特選】

二年 齋藤 陸翔
五年 伊東 怜美

安達地区音楽祭(第三部創作)

【入選】

(A-1) 五年 根本 健生
五年 増子 めぐ
五年 伊東 怜美
六年 國分 彩晴



おめでとう！

※第二学期終業式で表彰しました。

【支援員の先生のご紹介】

一月九日より新たに一名の支援員の先生をお迎えすることができました。保護者の皆様には引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

【ご挨拶(島崎佳那先生より)】

三学期よりお世話になります。子どもたちの顔と名前を覚えて、一緒に学んでいきたいと思えます。よろしくお願いたします。

